

ステキな“人”と出会うための  
香美町ガイドブック

# かみ❀あう

COME & MEET



COME & MEET

村高マスコットキャラクター

- 【発行日】 2014(平成26)年5月1日 初版  
【発行】 兵庫県立村岡高等学校  
兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2931  
☎0796-94-0201  
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~muraoka-hs/>  
【監修】 鳥取大学地域学部  
【協力】 香美町・香美町教育委員会  
【デザイン・印刷】 スタジオK1・岩見印刷株式会社  
【スタッフ】 兵庫県立村岡高等学校第52期生  
地域創造類型  
穴田真雪 石井裕太 上治遼哉  
白岩真希 田中翔太郎 田村宗太  
中村大地 藤本武大 邊見聖 森洋人



発行 兵庫県立村岡高等学校  
監修 鳥取大学地域学部

～ 香美でステキな”人”に出会い  
ステキな”ひととき”を過ごす  
ステキな”空間”をお届けします～

\*\*\*\*\*ステキな”人”たちのご紹介\*\*\*\*\*

ようこそ香美町へ	香美町長 浜上 勇人	1
★ 猿尾滝を愛する名物観光ガイド	西村寿	2
★ 日本一『村岡米』～プロのなせる技～	西田英喜	4
★ 燻製の常識を超えた煙の達人	井上利夫	6
★ ブランド牛を育てる仲間たち	上田伸也・美幸	7
★ 伝統行事『菖蒲(しょうぶ) 綱祭り』の伝道師	中村和雅	8
★ 香美を活性化!地域おこしのチャレンジャー	西村昌樹	10
★ 自然薯(じねんじょ) づくりのエキスパート	岸本正人	12
★ 「大事なものを大事にする」チャレンジャー	田中一馬	13
★ 地域の歴史を継ぐ宮司さん	田中基彦	14
★ 地域をこよなく愛するダブルフル実行委員長	山根勉	16
★ 地域の未来をつくる仕事人	仲村正彦	18
★ 地域の心を酔わせる九代目	福本芳夫	20
★ 食卓に一味加える三代目アイディアマン	柴崎一秀	22
★ 二代続く 美人三姉妹 船長	山口都子	24
★ 弁天淵復活の立役者!	原昌久	26
★ 香美町を塗り替える熱い心の商工会青年部長	松岡大悟	28
★ 新名物『香住丼』の仕掛け人	今西康喜	30
★ 成功するまで離さない! スッポン・チョウザメとえばこの人!	増田時雄	31
★ マラソンの極意を熟知した男	久保井洋次	32
★ 音楽の力で香美町を変える!	前垣孝・信之	34
★ 地域を愛し、未来を担う若者	小谷真央	36
★ 村岡のおばあちゃん	よしばあちゃん	38
★ 村高発 元気化プロジェクト	村岡高校	39
おわりに・編集後記		40
香美町マップ		41

ようこそ香美町へ

はまがみ はやと  
香美町長 浜上 勇人



このたび、香美町で活躍している方々を紹介するガイドブック『かみ★あう』が高校生によって発刊されることとなりました。

地域に学び地域との協働をめざして、兵庫県立村岡高等学校に「地域創造類型」が創設されて3年、高校生のみなさんが地域に心を寄せ、高校生の視点で香美町の将来を考えておられていることは大変意義深く、地元町長として大変うれしく感じております。今後私たちとともに、地域に貢献されることを願うと同時に、志を立て進まれるそれぞれの道で活躍されることを期待いたします。

さて、社会情勢の変化や過疎化・少子高齢化の急速な進行などにより、多くの市町で様々な課題が顕著となっています。これからは課題を『発展への可能性』と捉え直し、行政機関と住民が様々な形で連携し、時代に相応した「スピード感」と「柔軟な発想」で課題解決に取り組むことが必要となります。

このガイドブックを読むみなさんが、香美町を想い、ひとりでも多く『協働のまちづくり』に参加していただくことを、そしてさらに多くの方々に香美町にお越しいただき香美の魅力に触れていただくことを願っています。

香美町役場 兵庫県美方郡香美町香住区香住870-1 ☎0796-36-1111  
<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>





猿尾滝を愛する名物観光ガイド

西村 寿

Hisashi Nishimura

香美町一有名な滝なら、その滝をガイドする人も超一流!

その名物観光ガイドさんは西村寿(にしむらひさし)さん。6人の仲間とともに『猿尾滝』の観光ガイドを行っている西村さんは、熱く『猿尾滝』を語り、その話を聞くだけで『猿尾滝』の凄さ、そして西村さんの『猿尾滝』への愛情がひしひしと伝わってきます。

西村さんは元学校の先生ということもあり、話がとても上手、冗談を言って、観光客を楽しませてくれます。

西村さんに「うれしかったことは?」と聞くと、「テレビが何回も取材に来てくれたり、町が猿尾滝へ行く道路の整備に協力してくれたことはうれしかった。でもやっぱり一番は、何度も来てくれるリピーターの方が増えるのがうれしい。」

みなさんも名物観光ガイド西村さんといっしょに『猿尾滝』を観光してみませんか?



雄滝

ご利益がもらえる滝  
猿尾滝

『猿尾滝』は滝が猿の尻尾のような形をしていることから名付けられ、雄滝と雌滝の2種類の滝から成っています。雄滝とは主に滝壺があり水量が多い上段の滝のことをいい、雌滝は滝壺がなく、水量が少ないサラサラと流れる下段の滝のことをいいます。『猿尾滝』はこの2種類の滝が連なっています。このような滝が見られるのは香美町では『猿尾滝』だけです。

また『猿尾滝』には、仏様やマリア様がいらっしゃるといわれています。雄滝(写真)の中に仏様、マリア様、ほかにも多くの像が隠れています。あなたは見つけることができますか?

ほかにもマイナスイオンで疲労回復、精神安定などの効果もあります。ぜひ『猿尾滝』で、その効果を試してみてください。

猿尾滝

兵庫県美方郡香美町岡区日影  
《日本の滝百選/県指定文化財(名勝)》

お問い合わせ先:  
香美町岡観光協会 ☎0796-94-0123  
<http://www.kamichou-muraokakanko.org/>



## 日本一『村岡米』～プロのなせる技～

# 西田 英喜

Hideki Nishida

全国米・食味分析鑑定コンクールで金賞・特別賞と数々の賞を受賞している『村岡米』。その『村岡米』の生産拠点である村岡米生産組合組合長の西田英喜(にしだ ひでき)さん。

この組合は平成18年、地域資源を有効に活用し、環境と食味を重視した栽培により地域農業を活性化させ、担い手の育成を行うことを目的に設立されました。

今日、全国でも認められるようになった『村岡米』の栽培方法の特徴は、有機質肥料・減農薬栽培と堆肥です。世界一の肉質を誇る但馬牛が多く飼育されているこの地域では、堆肥センターが設立され、優良な堆肥が生産されています。この堆肥を使い『村岡米』は栽培されています。このことはまた、地域資源を有効に使うという「地域循環型農業」でもあります。

減農薬による雑草、天候不順等さまざまなトラブルが起こる自然を相手とするお米づくり。そういう環境でも日本一を受賞できるのは西田さんをはじめ、『村岡米』を生産する方々のまさにお米づくりのプロのなせる技ともいえるでしょう。

西田さんはこう語ります。「この地域の地質や寒暖の差があるからこそ、この味が生まれる」と...

## 但馬『村岡米』3つのスローガン

- ①誰もが認めるおいしいお米！
- ②地域循環型農業の実施！
- ③広げよう但馬村岡米！



3つのスローガンを胸に、村岡米で村岡を元気にしようとする西田さん。

これからも日本一おいしいお米を作り、そして全国に村岡の名を広めてくれるでしょう。

但馬が誇る味「村岡米」。

皆さんもぜひ、食べてみてください！



### 村岡米生産組合

兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2774

お問い合わせ先:

JAたじま村岡営農生活センター ☎0796-98-1111





燻製の常識を超えた煙の達人

# 井上 利夫

Toshio Inoue



「但馬を煙で表現する男」、その名は井上利夫(いのうえ としお)さん。

井上さんが営んでいる『香味煙』ではソーセージやチーズの燻製は当たり前、牛タン・鴨ロース・鹿肉から、みなさんが想像もつかないようなタコ・イカ・梅干・たくあん・味噌までも燻製にしています。

「なぜこんなものを燻製にしているのですか?」と井上さんに尋ねたところ、「他が作っているようなものだけではつまらない。誰もが思いつかないようなもので燻製を作りたい。」と熱く語ってくれました。

実際に井上さんが作った燻製を食べてみると、手作り感があり、気持ちのこもっているのが伝わってきます。

燻製の好きな人には、オススメのスポットです! 燻製が苦手な人でも一度行ってみてください。井上さんの作る燻製は必ずあなたを虜(とりこ)にします。その味を確かめてみませんか?



生活工房 香味煙

兵庫県美方郡香美町村岡区福岡569-4 ☎0796-96-0069

ブランド牛を育てる仲間たち

# 上田 伸也・美幸

Shinya Ueda

Miyuki Ueda



全国でも名高い但馬牛を育てる上田伸也(うへだ しんや)さん。

香美町の特産品のなかでも超有名なのが但馬牛。そもそも但馬牛は松阪牛や近江牛などの高級ブランド牛の素牛としても名高い非常に肉質のよい黒毛和牛で、その但馬牛の中でもA5、A4ランクのブランド牛を育てているのが『上田畜産』です。A5、A4ランクとは牛肉の格付けでA、B、Cの歩留等級と5~1までの肉質等級を合わせて評価したもので、両方で高評価を得るのは相当難しいといわれています。

また『上田畜産』では繁殖から肥育までの一貫生産が営まれており、県下で最大規模の但馬牛の飼育数を誇っています。「上田畜産でしか手に入らないおいしい肉を作っていく。そのおいしい肉を全国に広め、香美町を知ってもらう」ことを目標に上田伸也さんをはじめ7名の仲間たちは活動しています。

一日中、牛と関わり牛の最も快適な環境を常に考え、とことん愛情を注ぎ、理想の牛に近づけるため、『上田畜産』ならではの工夫を凝らして育てています。

「牛は奥が深く、次々に目標ができておもしろい!牛のすべてがわかるようになりたい。」と、上田伸也さん。「牛好きの仲間たちと助け合い、支え合いながら毎日頑張っています。」と、妻の上田美幸(うへだ みゆき)さん。牛を語る2人の口調は熱い!

上田畜産 兵庫県美方郡香美町村岡区宿548 ☎0796-96-1173  
http://www.ueda.kamicho.jp/



伝統行事『菖蒲綱祭り』の伝道師

# 中村 和雅

Kazumasa Nakamura

『菖蒲(しょうぶ)綱祭り』の伝統を受け継ぎ、そして伝える中村和雅(なかむら かずまさ)さん。中村さんに聞けば、『菖蒲綱祭り』のすべてがわかると言われています。

「菖蒲綱祭りは毎年6月上旬に行われ、子どもの成長と五穀豊穡、そして地域の安全を祈願します。『ヨーイヤサー、ヨーイヤサー、ヨーイヤサッサ、ヨイヤッサ…』のかけ声で菖蒲の綱を編むのですが、その長さは約50m、直径は50cmにもなります。そして、その綱で綱引きをするんです。」と中村さん。さらに中村さんは「伝統がなくなるのは悲しい。ぜひ、若い人たちに知ってもらい、そして続けていってほしい」と語りかけます。



中村さんは元小学校の先生でもあり、現在は小学生に書道を教えています。

## 龍を鎮める祭り『菖蒲綱祭り』



和田(村岡区和田地区)には、昔から伝わる龍神伝説があります。

その昔、和田には大きな池があり、その池には大きな龍が住んでいました。龍は池の前を通る人々を食べていました。通りかかったお坊さんが、その龍を退治したところ、翌年に和田地区に大火事や大洪水などの不幸な出来事が起こりました。人々は龍の祟りだと考え、龍の怒りを鎮めるために菖蒲で龍を作り、神様として祀(まつ)ったのが始まりといわれています。



菖蒲綱祭り 兵庫県美方郡香美町村岡区和田 《町指定無形民俗文化財》



香美を活性化！  
地域おこしのチャレンジャー

西村 昌樹

Masaki Nishimura

「香美町をよくするために生まれてきたと言っても過言ではない。」  
香美町若者町づくり懇話会座長・美方青年会議所理事長・八チ北観光協合理事長を歴任し、スキー国体選手として出場するなど、さまざまな活動を通して、香美町を良くしようと奮闘している『うづかの森』代表であり、西村工務店社長の西村昌樹(にしむら まさき)さん。

香美町若者町づくり懇話会では、「山陰海岸ジオパーク」登録にあわせて、『ジオかるた』を作成して、町内の小・中・高すべての学校に配り、香美町の風景や歴史を知ってもらうような活動を行っています。

また、廃校となった中学校を買い取り、新たな施設『うづかの森』を設立し、スポーツ・文化合宿や自然学校・林間学校、各種スポーツ大会の会場提供、イベント企画運営等を行っており、各地から多くの方々が、この香美町にやって来ます。

「すべての活動・仕事のベースは香美町を外に発信することである」という西村さん。合宿や林間学校で香美町に来て、リピーターになってもらい、また『ジオかるた』を見て、いろいろな香美町に出会ってもらえば、必ず香美町を訪れる方は増えることでしょう。

さらに西村さんは「香美町に来てもらうために地域の魅力を創造することが大切だ。この町には歴史も宝も埋もれている。それを掘り起こしていきたい!」と熱く語ります。

これからも西村さんは新たな宝を創造する香美町の若きリーダーとなることでしょう。



生産者と消費者をつないだり、子育てお母さんとの交流を目的に、『うづかの森まるしえ』開催

うづかの森 兵庫県美方郡香美町村岡区森脇230 ☎0796-96-0024  
<http://www.udukanomori.jp/>



自然薯づくりのエキスパート！

# 岸本 正人

Masato Kishimoto

『自然薯(じねんじょ)づくり』のおもしろさに興味を持ち自然薯づくりを始めた岸本正人(きしもと まさと)さん。香美町議会議員でもある岸本さんは、今では香美町でも有数の『自然薯づくり』のエキスパートとして活躍しています。

自然薯とは、粘り気のある山芋のことで、『自然薯づくり』の利点は、「希少価値があり、賞味期限が長いことだ」と岸本さんは語ります。岸本さんの畑は一反(約991.7㎡)あり、そこで採れる自然薯の70%はお歳暮用に、残りの30%は道の駅で販売されています。

岸本さんは「自然薯は掘ってみないと、大きさや質がわからないので、作っていて楽しい」、さらに、「このまま自然薯を作り続けて自然薯を香美町の特産品にしたい」と熱く語ります。みなさんも『自然薯づくり』のエキスパート岸本さんの作る自然薯を食べてみませんか？

アクトファームグループ  
兵庫県美方郡香美町村岡区相岡(けびおか)



「大事なものを大事にする」チャレンジャー

# 田中 一馬

Kazuma Tanaka

三田市から1ターンでやってきて香美町で但馬牛の飼育をしている田中一馬(たなか かずま)さん。

そもそも田中さんの祖母が村岡町(現香美町村岡区)の出身という縁もあり、香美町にやってきました。田中さんは畜産業を独自に始めたため、多くの困難に直面したそうですが、それでも後悔をしたことがないと言います。「その時にしたいことをやるんです。次のステップに行けるかもしれないし、行けないかもしれないけど、自分がやりたいことをするんです。」

そんな田中さんのこだわりは「牛を但馬牛ではなく、育てた名前前で売ること。」そうすることで、お客さんとコミュニケーションが取れたり、会話がはずむきっかけになるそうです。牛が本当に好きで、育てている牛を大切にしていることが伝わってきました。

田中さんは「大事なものを大事にする」ということを自身のテーマにしています。当たり前のことかもしれませんが、田中さんにとっては、仕事も家庭も大切なものだと言います。

田中さんの想いにぜひ一度ふれてみてください。

田中畜産 兵庫県美方郡香美町村岡区境464 ☎090-9050-8369(田中一馬)





地域の歴史を継ぐ宮司さん

# 田中 基彦

Motohiko Tanaka

昭和55年に父親の後を継いで黒野神社の宮司となった田中基彦(たなか もとひこ)さん。昭和37年から36年間国語教師として兵庫県立村岡高校に勤務しながら、今日まで黒野神社を守ってきました。「当時は教師と宮司は両立するのは大変で、無理もかなりしたけれど、途中で投げ出たくはなかった。今では教え子に助けてもらうことも多々あり、感謝している。」と田中さんは語ります。

黒野神社には家庭円満・安産・商売繁盛の神が祀(まつ)られており、七五三やえびす祭りには多くの来訪者があります。田中さんに「この仕事の楽しみ・達成感は何?」と聞くと、「神様とお参りをした方々の仲立ちをするのが自分の仕事。みなさんの祈願が叶うことが、ひとつの達成感ではあるが、お参りをして良かったと思われたらそれが自分にとって一番うれしいことで幸せだ。みなさんが平穏な生活を送れたら達成感がある。」とのことでした。

## 黒野神社

黒野神社は、平安時代に黒野経秀が創建したといわれる延喜式内社です。江戸時代に、村岡藩主山名氏より、守護神として厚く敬われました。国指定重要文化財で、鎌倉時代後期のものといわれる「釈迦十六善神像図」が所蔵されています。



地元の中学生在が書いた和算の絵馬

釈迦十六善神像図

「子どもが少なくなっていて、この先が少し心配。子どもが多くなって栄えている町になってほしい」と田中さんは地域の未来に思いを馳せて語ります。



黒野神社

兵庫県美方郡香美町岡区村岡723  
☎0796-96-0432

第16回(2013年)村岡ダブルフルウルトラランニングから実行委員長に抜擢された山根勉(やまね つとむ)さん。

山根さんは、「村岡にしかない特性を活かし、他にないようなマラソン大会」を目指しています。また、「香美町をはじめ地域の全面的な協力があるから、成功させることができる。地域のみなさんの支援や対応の早さのおかげで、今まで大きな失敗はない。」とのこと。山根さんが一番楽しみにしていることは、「毎年同じランナーに会えること。リタイアされた選手の『来年、また来ます!』という言葉も非常にうれしい。」と笑顔で語ります。

村岡ダブルフルウルトラランニングは、100km,88km,66km,44kmの4コースのランニングと40kmウォーキングを実施しています。

当初は参加者が300人ほどだったのですが、今は1800人以上に増えています。目標は2000人!あなたも、ウルトラランニングに参加しませんか?



地域をこよなく愛する  
村岡ダブルフルウルトラランニング  
大会実行委員長

山根 勉  
Tsutomu Yamane



44kmコースのスタート直後



但馬アルペンロード快走



地域住民によるエイド



歓喜のゴール



長楽寺に参拝



伝言板へひと言



バイク隊出動



ダブルフルのお弁当屋さん



長楽太鼓の演奏(歓迎祭)



フィナーレの花火

村岡ダブルフルウルトラランニング大会事務局  
兵庫県美方郡香美町村岡区村岡 ☎0796-94-0298  
<http://www5.nkansai.ne.jp/org/muraokaultra/>



地域の未来をつくる仕事人

# 仲村 正彦

Masahiko Nakamura

砂利や生コンなどの建設資材の販売や土木工事、建設等を行っている石井建材株式会社三代目代表取締役の仲村正彦(なかむら まさひこ)さん。

仲村さんが、「この地域に必要なものはなにか」と考えたのが、地元の特産品である但馬牛。

但馬地域は過疎化が急速に進み、但馬牛を飼う農家が激減、このままでは但馬牛がいなくなってしまうと憂い、但馬牛の飼育という新事業である『美方ファーム株式会社』を設立し、従業員6名で1000頭を目標に奮闘しています。

また仲村さんは、「ただ但馬牛を飼育するだけでなく、『体験ファーム』として牧場を活用したり、地元の農作物と但馬牛と一緒に販売し、少しでも事業を拡大することで若者の雇用を増やし、地域の活性化のために貢献したい。」と意気込みを語り、さらに「夢を持ってやること!夢がなければしんどくなり、しんどくなるとおもしろくない」と明るく語ってくれました。

## 『美方ファーム株式会社』

但馬牛のふる里のこの地で  
但馬人が牛を育て人が成長する。  
安心で安全な但馬牛を育てる。  
堆肥を利用して地域で循環型の農業を育てる。  
地元若者の雇用の場を作る。



美方ファーム株式会社  
兵庫県美方郡香美町村岡区萩山178-2  
☎0796-98-1522  
<http://www.mikata-farm.com/>



地域の心を酔わせる九代目

# 福本 芳夫

Yoshio Fukumoto

香美町に来ないと味わうことができないお酒を造っている、老舗酒造会社「香住鶴株式会社」の代表取締役 福本芳夫（ふくもと よしお）さん[九代目当主]。福本さんは、地域と連携したお酒造りを心がけ、販売は香住鶴本社や地域をメインとしています。「ここに来ないと味わうことができないお酒を造ることで、地域に貢献していきたい」と福本さん。お酒造りや関連商品を地域と提携して製造しており、香住鶴は地域の味といってもいいでしょう。

福本さんは『他人とは同じことをやらない、他人がやる前にやる』を掲げ、お酒造りだけでなく関連商品も他ではあまり見られないものがお店には並んでいます。福本さんのこだわりが、そこには感じられます。

福本さんの地域への想いがこもったお酒だからこそ地域の人に愛されているのです。

そんなお酒をぜひ一度味わってみては？



老舗酒造会社  
『香住鶴』

香住鶴は江戸時代から約250年続く老舗の酒造会社。店舗に入るとお酒の匂いが程良く香ります。お酒好きな人にはたまりません。

また店舗にはお酒だけでなく、酒の粕を使ったお菓子など関連商品が販売されており、これらは地域のさまざまな分野の会社と提携し造っています。

店舗ではお酒の試飲もでき、自分に合ったお酒を見つけることもできます。

地域に愛される味を持つ、香住鶴の商品は、ここにしかないものばかり。お酒だけでなく、関連商品もぜひ味わってみてください。



香住鶴株式会社 兵庫県美方郡香美町香住区小原600-2 ☎0796-36-0029  
<http://www.fukuchiya.co.jp/>



食卓に一味加える三代目アイディアマン

# 柴崎 一秀

Kazuhide Shibasaki

地元で生まれ育ち、地域の食材を活かすためにアイデアを出し、醤油やお酢などの調味料を開発している株式会社トキワ会長の柴崎一秀(しばさき かずひで)さん。

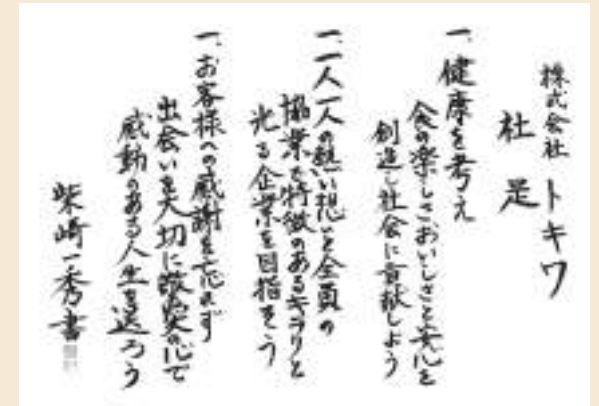
柴崎さんの作る調味料は地域で愛され、地域の味となっています。さらに観光客にも人気急上昇中でお土産として買って帰る人の数も増えています。

柴崎さんが商品開発をするときに心がけていることは、みんなで食べて笑顔になるようなものを作ることです。「家族みんなで食べ物をよりおいしく食べて、家族みんなが笑顔になってほしい。そうなるようにしていきたい。」と柴崎さんは熱く語ります。さらに「おいしいものを家族みんなで食べて、食べながら話すことで、さらに家族の絆が深まっていけばいいなあ」と続きます。

柴崎さんの思いや温かさがこもった商品だからこそ、みなさんに愛されているのでしょう。

## 株式会社トキワ

トキワの商品開発のすべては、会長がことあるごとに口にする、「ヒントは足元にある」という言葉からはじまります。



株式会社トキワ 兵庫県美方郡香美町香住区三谷735 ☎0796-36-4001 <http://www.a-aji.jp/>

神秘的海岸、香住海岸を案内してくれるのは、香住海岸観光ガイドであり、『遊覧船かすみ丸』有限会社代表取締役の山口都子(やまぐち みやこ)さん。

親子二代にわたり、遊覧船の操縦をしながら香住海岸の観光ガイドを務めます。

巧みな舵さばきはもちろん、香住海岸の名所を丁寧でわかりやすい説明で案内してくれます。

三姉妹船長に「観光ガイドするときには気をつけていることは何ですか?」と尋ねると、「お客さんに何度でも香住に来たいと思っていただけることが一番です。ただ案内するだけではなく、語りかけるように案内をします。」とのこと。これが、香住海岸にリピーターが多く、いつまでも愛されている理由のひとつですね。

二代続く美人三姉妹船長

山口 都子

Miyako Yamaguchi



## 大自然の神秘 香住海岸

カエルにワニ、牛もいる海岸、香住海岸!香住海岸は太古の昔から長い時をへて自然(波や風)によって作られた神秘的海岸です。そんな香住海岸には、様々な形をした岩壁があり、鎧の「おどし」のように見える「鎧の袖」や、カエルの形をした「かえる島」など、実際に自然の神秘が体験できるものばかりです。皆さんもぜひ香住海岸に来て、大自然の素晴らしさを味わってみませんか?



めがね島



鷹の巣島



但馬松島



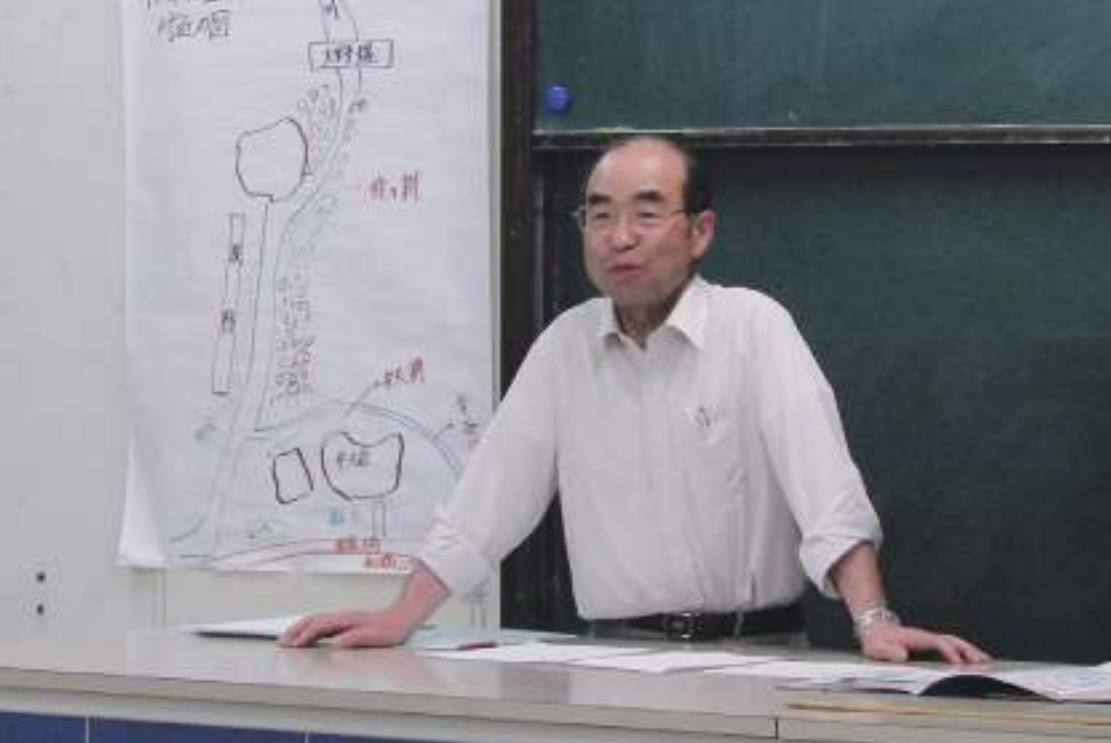
かえる島

遊覧船かすみ丸有限会社

兵庫県美方郡香美町香住区一日市410

☎0796-36-0571

<http://kasumimaru.jp/>



弁天淵復活の立役者！  
矢田川発地球環境グループ代表世話人

原 昌久

Masahisa Hara

『矢田川発地球環境グループ』代表世話人を務め、村岡高校の地域探求Iの地元講師でもある原昌久（はら まさひさ）さん。

近代化とともに失われつつあるかつての矢田川水系の水をめぐる豊かな資源（生物や自然環境）を復活させようという取り組みを行っています。自身が小さい頃から遊んできた矢田川中流域にある弁天淵（香住区小原）は、たくさんの土砂がたまり、埋まってしまいました。そんな時、矢田川発地域環境グループ、弁天淵周辺の仲間に出会ったことで、弁天淵をもとのきれいな淵にしたいという思いが高まりました。

川の流れを変えることは難しいと土木関係者からも言われていましたが、あきらめずに取り組み、ついに2011年に工事が行われ、昔の弁天淵にほぼ甦りました。しかし、しばらく後の洪水によりもとの状態に戻ってしまいました。今は再び弁天淵を再生するために、シンポジウム「弁天淵を想う会」を開き、「淵・瀬を取り戻すことが私たちの役目」と訴えています。

今後、『矢田川発地域環境グループ』のメンバーは、県新温泉土木事務所、鳥取大学工学部、香住高校とともに淵を復活させるために協同で事業を進めていこうと考えています。

雄姿を誇る弁天淵 平成23年4月21日撮影



矢田川で採取した水生昆虫

矢田川発地球環境グループ

兵庫県美方郡香美町香住区小原  
☎0796-36-3034(原 昌久)

香美町を塗り替える  
熱い心の  
商工会青年部長 —

# 松岡 大悟

Daigo Matsuoka

地元で塗装店を営みながら香美町商工会青年部の部長を務める松岡大悟(まつおか だいご)さん。

町のヒーロー『香美超戦隊オジレンジャーGEO』や小さなニギスを食べやすくした『干し☆きす・スティック(通称S・K・S)』を手がけ、若者の中心となって、町おこしを行っています。また松岡さん自身のフェイスブックなどで情報を発信し、少しでも多くの人に香美町について知ってもらおうとしています。「今、私たちがしていることは決して直接自分たちが儲かることではないけれど、広めていくことで、いつか地域の活性化に役に立っていくと思うんです。」と松岡さんは語ります。

さらに松岡さんは地域の人に地域のことを好きになってもらえるような地域づくりにも取り組んでいます。「自分は地元のことが好きだから地域づくりの活動ができる。だからこの香美町のことを自分のように好きだと多くの人に言ってもらえるようにしたい。」と松岡さんは熱く語ります。

松岡さんの熱い思いは地域の人々を動かし、今ではたくさんの方が松岡さんと一緒に活動しています。あなたも松岡さんの思いのこもった『香美超戦隊オジレンジャーGEO』や『S・K・S』づくりを体験してみませんか？



香美町商工会青年部 兵庫県美方郡香美町香住区香住107 ☎0796-36-0123  
<http://www.coming-kamichou.com/>





新名物『香住丼』の仕掛け人

# 今西 康喜

Yasuki Imanishi

香住生まれの香住育ちで、今西食品（水産加工）を営む今西康喜（いまにし やすき）さん。2011年7月に『香住丼』を発売し、その年の8月に『香住丼を広める会』を発足、今西さんは事務局長に就任しました。

今西さんは『香住丼』を通して地元の方はもちろん、町外の方にも香住の魚類の良さをもっと知ってもらい、漁業関係が活気づいてほしいと願っています。

「香住丼は子どものような存在に感じるから、もっと成長して、仲間をどんどん増やしてほしい。」

発売当初は2店舗でしたが、いまでは加盟店は9店舗と民宿にまで広がっているという『香住丼』。春夏秋冬いろいろなバリエーションがあり、最近では『香住丼』を食べ歩く人が増えています。

「今後は代表的な香住丼をつくり、多くの人を惹（ひ）きつけていきたい。」「そして将来は香住のお店に行けば、どこでも香住丼が食べることができるまで広めて、地域を活性化していくことが夢です！」



香住丼を広める会事務局

兵庫県美方郡香美町香住区香住104 ☎0796-36-0820（香住青年会議所）  
<http://www2.ocn.ne.jp/jaycee/>

成功するまで離さない  
スッポン・チョウザメと言えはこの人！

# 増田 時雄

Tokio Masuda

「生き物を育てることが好き」という趣味が高じて養殖業を始めた増田時雄（ますだ ときお）さん。

「自分の好きなことをするのは苦にならない。これが地域のためになっているのはうれしいこと」と増田さんは語ります。

平成15年から養殖の仕事を引き受け、毎日スッポンとチョウザメを研究し、「スッポンの池にドジョウと金魚を入れると掃除をしたり環境の変化がわかる」ことを見つけ出し、今や、香美町では『スッポン・チョウザメ養殖』の第一人者として知られています。今では地元の若手料理人がスッポン・チョウザメを調理して提供しており、地域のみなさんが知っている名物となっています。

増田さんは「何事もうまくいかないときは止めるのではなく、一服（休憩）して最低10年は、そのことに立ち向かうことが大切だ」と語ってくれました。



小代内水面組合 兵庫県美方郡香美町小代区神水744-1 ☎0796-97-3125



マラソンの極意を熟知した男  
みかた残酷マラソン大会実行委員長

久保井 洋次

Yoji Kuboi

MIKATA  
残酷  
マラソン  
全国大会

『みかた残酷マラソン』の産みの親でもある久保井洋次（くぼい ようじ）さん。久保井さんは全国各地のマラソン大会に参加し、そこで得たものを地元で行われるマラソン大会に反映させています。

たとえば北海道のサロマ湖で行われるマラソン大会に参加して、ボランティアで参加する高校生に触れ、数年前から『みかた残酷マラソン』にも高校生のスタッフ参加を導入、2013年からは、地元の村岡高校の全校生徒が「村高発 地域元気化プロジェクト」と銘打ってスタッフとして参加するようになっていきます。

久保井さんは「マラソン大会を運営する上で大切なことは、スタッフ・ランナーの両方が楽しめることだ」と語ります。両方が楽しめなければ本当のマラソン大会ではないということです。さらに「将来的に目指しているのは、地元の高校生が企画・運営するマラソン大会を行うこと。」だそうです。もしそんなマラソン大会が実現したら…。そうです！ みんなで参加してみませんか？きっと新しい景色が見られるはずですよ。



「おどり」でおもてなし



「実行委員長のハイタッチ」でおもてなし



「給水所」でおもてなし

## 『お・も・て・な・し』

### 第21回みかた残酷マラソン編



「田んぼから応援」でおもてなし



「山道から応援」でおもてなし



「ゴール声援」でおもてなし



「トマト・ソーメン」でおもてなし



「完走証づくり」でおもてなし

みかた残酷マラソン大会事務局

兵庫県美方郡香美町小代区実山100 小代区中央公民館内 ☎0796-97-3966



音楽の力で香美町を変える！

# 前垣 孝・信之

Takashi Maegaki

Nobuyuki Maegaki

「音楽の力で地域を変える」と熱く語るのはロックバンド『Mother tomb(マザートゥーム)』。  
『Mother tomb』はベース&ボーカル、ドラム、ギター2名の4名で活動しています。香美町内  
はもちろん、神戸のライブハウス「チキンジョージ」をはじめさまざまな舞台で活躍しています。

『Mother tomb』の練習場は牛舎(さすが但馬牛の里小代ですね)。毎日仕事が終わってから  
牛舎で19時から22時まで練習しています。冬には2m近く降り積もった雪の雪かきをしてから  
練習場の牛舎に入ることもあるそうです。

兄でベース&ボーカル担当の孝(たかし)さんと弟でギター担当の信之(のぶゆき)さんは、村  
岡高校OBでもあり、「もっと若者が頑張ってほしい」と訴え、「俺たちも頑張るからみんな頑張ろ  
う!」というメッセージを送りながらバンド活動を続けています。「香美町から発信して全国へ!香  
美町の名を広めよう!」と2人は熱く語ります。

こんな『Mother tomb』のロックな曲を聴いて、刺激のある毎日を送ってみませんか?



Mother tombスタジオ(牛舎)の  
草刈りをするメンバー

## 熱狂ライブ なうing!



Mother tombスタジオ(牛舎)の  
雨漏りを修理するメンバー



**Mother tomb(マザートゥーム)**

兵庫県美方郡香美町小代区茅野 ☎090-3350-9819(前垣信之)  
<http://mothertomb.com/>



## 村岡おんがえしプロジェクト



地域を愛し、未来を担う若者

# 小谷 真央

Mao Kotani

地元の村岡高校47期生で、鳥取大学地域学部地域政策学科を卒業した小谷真央(こたにまお)さん。

2014年から兵庫県立大学大学院豊岡ここのりの郷公園キャンパスへ進学し、地域をさらに深く研究しています。また、地元出身の大学生を中心とした『村岡おんがえしプロジェクト』(代表は中田翔真さん)に携わり、地元の空き家を改装して活動拠点とし、ワークショップや地元の夏祭りの出店等の様々な活動に取り組んでいます。「村岡のスイッチをOFFからONへ」をテーマに現在は約50名が携わっており、村岡高校の生徒も参加しています。

「若者だから出来ることを探しながら、様々な人やモノ、コトと繋がっていきたい。そのためにはまず若者が活動できる場を創りたい」と小谷さんは語ります。

高齢社会である今、地域の未来を担うキーパーソンとして小谷さんをチェック!

村岡おんがえしプロジェクト

兵庫県美方郡香美町村岡区福岡 ☎090-5465-5761 (小谷真央)

「できるかできないか、じゃなくて、やるかやらないか」  
空き家プロジェクトで新しい若者の活動スペースを創作中!





村岡のおばあちゃん  
よしばあちゃん



Yoshi

村岡の人なら誰でも知っている『よしばあちゃん』。  
『よしばあちゃん』は道の駅で売られている商品や、看板などに描かれているマスコットキャラクター。もともとは、旧村岡町職員が発案し、村岡の特産品をアピールするために作られました。デザインはスタジオK1の正垣亮平(しょうがき りょうへい)さんが手掛けました。  
可愛らしく、親しみやすい笑顔を浮かべる『よしばあちゃん』。あなたも村岡で探してみませんか？



よしばあちゃんのデザインを手掛けたスタジオK1の正垣亮平さん

スタジオK1

兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2440-6  
☎0796-99-7022  
<http://www.st-k1.com/>



村高発 地域元気化プロジェクト  
兵庫県立村岡高等学校



村岡高校では、「村高発 地域元気化プロジェクト」と題して、5つのグループに分かれ、地域を知り、地域を元気にするため様々な活動を行っています。また「村岡ダブルフルウルトラランニング」や「みかた残酷マラソン」では全校生一丸となり、地域のスタッフとして参加しています。『ありがとう』の言葉から元気をもらい、これからも頑張っていきます！

全国募集！ 地域アウトドアスポーツ類型

平成26年度から、『地域アウトドアスポーツ類型』が全国募集になりました。この類型は「地域を知り・地域を深め・地域を創る」ことを目指す「地域創造系」と、「スキーを中心に地域スポーツを創る」ことを目指す「アウトドアスポーツ系」の2つからなり、いずれも「地域の活性化」について学びます。

兵庫県立村岡高等学校

兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2931 ☎0796-94-0201  
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~muraoka-hs/>

